

和剣

VOL. 16

2007年 6月 15日

和歌山県スポーツチャンバラ協会
〒640-8033 和歌山市本町4丁目32番地
TEL 073-433-7720
FAX 073-433-7730

1. 「自灯館」スポーツチャンバラ体験会のお知らせ。

6月24日(日)の午前10時より12時頃まで、和歌山市中之島の「空心館道場」(中之島小学校正門右隣)において、「自灯館」の石上公望先生による体験会が実施されます。

当日は有朋館(近鉄カルチャー)の柚岡(太)先生門下の数名も参加・応援します。近在の支部・道場の指導者、門人で都合の付く会員の皆様は是非、御参加下さい。

2. 第4回和歌山県大会について。

第4回大会は、当初の予定を変更して、10月の開催を目途に、和歌山市かその周辺地域での場所選びと運営企画を進めることになりました。会員の皆さんも積極的な声を寄せて下さい。

3. 当面の行事予定。

(1) 第33回全日本選手権大会

6月24日(日) 午前9時30分～ 横浜文化体育館

問合せ先：電話045-664-7198 (大会本部)

(2) 第16回兵庫県大会

7月1日(日) 午前9時20分～ 兵庫県立文化体育館多目的ホール

問合せ先：電話080-6112-3751 (上村会長)

(3) 第15回滋賀県大会

7月7日(土) 午前9時～ 栗東市民体育館

問合せ先：電話077-562-5913 (大谷清明)

(4) 第6回枚方市大会

7月22日(日) 枚方市渚市民体育館

(5) 第2回アジア・オセアニアスポーツチャンバラ選手権大会 in シンガポール

8月10日(金)～14日(火)

『無検証試合』(自己審判制)

一時期とはいえ、剣道界にも無審判制は存在した。明治期の学生剣道の世界と高段者の試合である。審判を行うことを試合者の人格に対する侵犯行為であり侮辱であると感じる武道人が先輩方の中に居た。学生剣道では東大と京大の定期戦(大正10年発足)の初期。高段者の試合は、教士号保持者以上の模範試合である。紋服に威儀を正した審判者が白扇を直して床上に正座して「拝見!」と声をかける。そしておよそ三太刀の勝負が決したと見て「よろしゅうございます、それまで」と声をかけて試合を終える。その際、勝負の判定は一切行なわない。審判員に勝負判定を預け、スポーツ団体である体協の傘下に入ることを名誉か何かのように考え、本来はテストにすぎぬ試合の成績を最終目的に置き換えてしまうという、プライドも識見も置き去りにした観のある昨今の武道活動に何の意義があるのだろう。第一高等学校(東大)の撃剣部は剣道の試合が剣道本来の目的から逸脱して次第に優勝旗争奪のセレモニーと化してゆくことに絶望して、無検証試合の主唱後まもなく剣道界に訣別した。(野中日文著「武道の礼儀作法」スタンレー・プラニン発行 より抜粋)